

地域看護学Ⅰ

| | | | |
|--------------|-------------------|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 地域包括ケア講座 野村 陽子 教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 地域包括ケア講座 | | |
| 対象学年 | 1 | 区分・時間数 | 講義 12 時間 |
| 期 間 | 前期 | | |
| 単 位 数 | 1 単位 | | |

・学習方針（講義概要等）

看護専門職として、地域で生活する人々の健康を支える視点を学ぶ。目標としては、プライマリ・ヘルスケア、ヘルスプロモーションおよび地域包括ケア等地域看護の基本的な知識を身に付け、人々の健康ニーズをライフサイクルや健康レベルによって理解する。また、疾病予防や健康を保持増進する活動について基本的知識を理解し、プライマリ・ヘルスケアの概念に基づく医療活動、そして生活支援をする福祉活動を学び、看護職の役割を理解するとともに、地域で活躍する看護職の看護活動の実際を知る。

・教育成果（アウトカム）

看護の対象となる人々が生活する地域の捉え方を学び、地域特性と健康の関連性、個人・家族・集団、そして発達段階における健康との関連性を理解し、地域における看護職の役割を認識する。また、地域包括ケアシステムや沢内村の実践を学ぶことにより、地域の人々を支える社会の仕組みを理解し、健康課題と地域の関連性を理解することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 生活の場としての地域・社会の意味を説明でき、生活とは何か、生活と環境や文化との関係を説明できる。
2. 地域社会の文化、慣習が生活に及ぼす影響について説明できる。
3. 健康の定義について説明できる。
4. 健康に関する主要な概念について説明でき、健康の社会的決定要因について説明できる。環境（社会・文化的環境等）について説明でき、環境の現状や課題、環境と健康・生活との関連について説明できる
5. 様々なライフサイクルの背景にある文化を理解し、多様なライフスタイルを理解できる
6. 看護職が活躍する多様な場とそこでの役割を理解できる。
7. 地域の資源や様々なグループ、組織の活動について人々の暮らしと関連付けて説明できる

・ 授業日程

【講義】

(矢) 東 2-A 講義室

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 授業内容/到達目標 |
|------|----|----|----------|----------|---|
| 4/16 | 火 | 1 | 地域包括ケア講座 | 野村 陽子 教授 | <p>地域を知る</p> <p>-地域の特徴を表すデータから-</p> <p>-地域の環境、歴史および文化から-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特性をデータ、環境、歴史、文化等の側面から捉えることができる ・ 健康増進計画から地域の特性を理解できる |
| 4/23 | 火 | 1 | 地域包括ケア講座 | 野村 陽子 教授 | <p>地域のありようと健康</p> <p>-健康格差、ソーシャルキャピタル-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特性と健康の関連性を説明できる ・ 健康と社会のつながりについて理解できる |
| 5/7 | 火 | 1 | 地域包括ケア講座 | 野村 陽子 教授 | <p>地域で生活する人々を知る</p> <p>-個人・家族および地域・集団・組織-</p> <p>-発達段階・健康状態-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護の対象となる地域で生活する人々について、個人・家族・集団、そして発達段階の側面から健康との関連性について説明できる |
| 5/14 | 火 | 2 | 地域包括ケア講座 | 野村 陽子 教授 | <p>地域の看護職の役割①</p> <p>-健康とは-</p> <p>-健康を維持・増進する方策-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康の定義が説明できる ・ プライマリ・ヘルスケア、ヘルスプロモーションについて説明できる ・ 健康を維持・増進する方策を理解し、健康づくりと地域の関係について説明できる |
| 5/21 | 火 | 1 | 地域包括ケア講座 | 野村 陽子 教授 | <p>地域の看護職の役割②</p> <p>-地域の保健活動と制度-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健活動と保健師の役割を説明できる ・ 保健活動の基盤となる制度について理解できる |

| | | | | | |
|------|---|---|----------|----------|---|
| 5/28 | 火 | 1 | 地域包括ケア講座 | 野村 陽子 教授 | 地域の看護専門職の役割③ -地域で活動している看護職- ・地域で提供される様々な看護を理解し、看護職の役割を説明できる |
| 6/4 | 火 | 1 | 地域包括ケア講座 | 野村 陽子 教授 | 可能な限り住み慣れた地域で、生活する -住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築- ・健康課題をもつ人々が生活し続けるための地域包括ケアシステムについて理解できる |
| 6/11 | 火 | 1 | 地域包括ケア講座 | 野村 陽子 教授 | 地域で暮らす人々の健康を支える -沢内村奮戦記- ・沢内村の実践から社会の仕組みと健康について理解できる |

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|------------------|----------|-----------|------|
| 教 | 公衆衛生看護学概論 第4版 | 金川 克子 編 | メヂカルフレンド社 | 2015 |
| 参 | 沢内村奮戦記—住民の生命を守る村 | 太田 祖電、他著 | あけび書房 | 1983 |
| 推 | 在宅ケアの不思議な力 | 秋山 正子 | 医学書院 | 2010 |
| 推 | 健康格差社会 | 近藤 克則 | 医学書院 | 2005 |

・成績評価方法

定期試験 70%、授業内課題に対するレポート 30%により、総合的に評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・参考書・推薦図書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。授業を受けた後は、授業で行ったグループワークの復習を行い、また、授業内で指示された課題レポートは WebClass で期日までに提出すること。各授業に対する事前事後学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】
授業で出された課題レポートは、採点后、コメントを付して返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
保健師（別表1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護学概論
看護師（別表3）：統合分野 在宅看護論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|--------------------|----|-----------|
| 講義 | プロジェクター（VPL-FWZ60） | 1 | 講義用スライド投影 |
| 講義 | 書画カメラ（P-100） | 1 | 講義用資料投影 |